

# なかつか 亮



2014年3月30日(日)

NO428

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

## 都市計画道路29号線

# 防災のためはゴマカシだった!

認可申請理由の第一は「交通の円滑化」、防災は「また…」と付け足し

### 申請の理由

本路線は、品川区大崎三丁目を起点として、大田区南馬込四丁目に至る延長約5.0kmの幹線街路である。本事業は、このうち、東京都品川区豊町六丁目から同区二葉四丁目地内までの延長550mの区間について、計画幅員20mで整備するものである。

本整備により、交通の円滑化が図られるとともに、安全で快適な歩行空間が確保される。

また、主要延焼遮断帯である同区間の整備により地域の防災が向上する。

なお、本事業は都道として整備するものであり、東京都事業として認可を受けるものである。(都が提出した認可申請書。防災のためと言いながら理由の第一は「交通の円滑化」とは…)



都や区が「防災のため」と説明してきた補助29号線など特定整備路線について、実は事業認可書で「交通の円滑化」を第一の理由に挙げている事が判明。3月17日、区議会予算委員会で共産党は「住民に防災と説明しながら、話が違ふ」と住民の声を紹介し、改めて道路計画の中止を求めました。

**2月5日に申請提出**

特定整備路線について、都は29号線全長3.4km中の2地域(1・7分(大崎、豊町))を2月5日、国土交通省に事業認可を提出しました。近隣住民は「まちを壊し住民を追い出す道路計画の認可は下ろすな」と政府に要請。国会では共産党笠井亮衆院議員が「住民合意の無い道路計画は中止を」と求めました。

ところが安部自公政権は、2月27日に事業認可を下ろし3月24日に告示。都ホームページに

「国に「国土交通省からの都市計画事業の認可を取得し、事業を実施いたします」と。どこまでも住民無視の強引な姿勢は許せません。」

**事業認可書入手**

共産党は都が提出した事業認可書を手。計画のゴマカシ(上)が判明しました。裏へ

(住民説明会配布資料)



説明会では火災や住宅倒壊の説明。交通の説明はありません。

週刊区政報告に対するご意見、ご要望お寄せください バックナンバーはHPに掲載

フェイスブック ほぼ毎日更新中! 気軽に「友達リクエスト」の送信を



認可書一部。事業費は2区間で171億円で全額税金です。

## 説明会「防災のため」

補助29号線をはじめ、放射2号線、補助28号線の説明会では、どこでも都や区は「防災のために必要」と説明。会場では、阪神淡路大震災における被害状況を映像で紹介し、配布資料にも「燃えないまちを実現」「木造住宅密集地域を改善する、命を守るまち」と。説明会参加者からは「防災のためと言われれば、協力しない訳にもいかないが、本当に20m道路が防災の役に立つのか」と戸惑いの意見が

多数あがっていました。

しかし、都が国に提出した事業認可申請書では申請理由の第一は「交通の円滑化」。防災は「また」と付け足しです。やはり防災対策とは口実で、交通ネットワークの整備が一番の狙い。なぜ都や区は、この事を伏せていたのでしょうか？

## それは前提です区

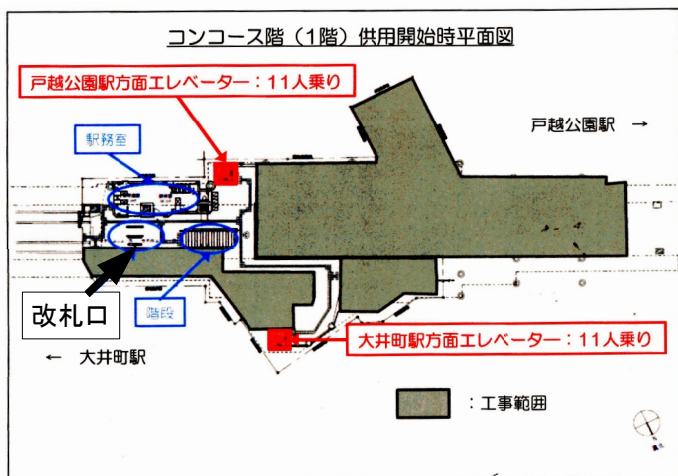
予算委員会では「防災」と言えば、住民を説得できると思っていたのか。本音をなぜ隠したのか」と追及。区は「交通とは道路の前提ですから」と事実上、説明してこなかったことを認めました。

道理も大義もない道路計画は明らか。道路計画は白紙撤回しかありません。なかつか亮

# 下神明駅エレベーター稼働

エスカレーター、だれでもトイレは今年度完成予定

さらに東急大井町線、JR山手線、京浜東北線など駅ホームドア設置を



東急大井町線下神明駅の改修工事が進み、2月末に住民待望のエレベーター(11乗り)がついに実現しました。

大井町線はこれで全駅設置です。下神明駅のエスカレーターやだれでもトイレは今年度完成予定。共産党は引き続き、東急及びJR線など各駅のバリアフリー化に向け力を注ぎます。

左は品川駅の山手線ホーム。いまだにホームドアが未設置。一日も早く設置に力を合わせましょう。JR品川駅山手線ホーム



## 次回の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

4月11日(金) 午後6時～8時 場所: 日本共産党なかつか亮事務所  
 弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
 連絡先 昼: 区議控室 **5742-6818** 夜: 事務所 **3773-3231**